



AUE News



2012年7月1日

第 43 号

編集・発行
愛知教育大学広報部会
TEL 0566-26-2738
FAX 0566-26-2500

目次

● 行事予定(7月1-15日)

● トピックス

- ・ 本学同窓会総会・懇親会
- ・ 国立大学協会定期総会など諸会議開催
- ・ 2012年度第1回環境ミーティング
- ・ 教職大学院体験授業
- ・ 日本銀行名古屋支店見学会
- ・ 数学検定グランプリ金賞の杉崎さんを学長表彰
- ・ 教育研究基金寄附者へ感謝状贈呈
- ・ 夏のランチタイムコンサート

・ 第1回LAものづくりセミナー

- ・ 連携公開講座「親子で学ぼう！経済の仕組み」

● お知らせ・報告・投稿

- ・ A I S I N国際交流会
- ・ 2012年第1回ポイ捨て防止アクション
- ・ 知立市講演会「グローバル化と日本の行方」
- ・ 宮本延春さんが著書を出版
- ・ 日本学生陸上競技個人選手権大会の結果
- ・ 岡崎城西高校、一宮西高校などが本学見学
- ・ 愛知教育大学国語教育公開講座
- ・ 催しもの案内

行事予定(7/1-15)

- 3日(火) 役員部局長会議(13:00～ 学長室)
自己点検評価専門委員会(役員部局長会議終了後、学長室)
教育実地研究専門委員会(16:40～ 第五会議室)
- 4日(水) 教務企画委員会(13:30～ 第二会議室)
学生支援委員会(13:30～ 第五会議室)
大学改革推進委員会(15:30～ 第五会議室)
- 10日(火) 役員会(13:00～ 学長室)
- 11日(水) 代議員会(13:30～ 第五会議室)
教育研究評議会(代議員会終了後、第五会議室)
- 13日(金) 附属学校運営委員会(14:00～ 第三会議室)

トピックス

本学同窓会総会・懇談会(6/16)

6月16日(土)に名古屋市中区のローズコートホテルで、本学同窓会総会及び懇親会を開催しました。当日は同窓生約250人の参加があり、同窓会会長の柴田録治様のご挨拶と、来賓として松田正久学長、折出健二、岩崎公弥、都築繁幸、白石薫二各理事をはじめ部局長の皆様、愛知県教育委員会委員の加古博様、元名古屋市教育委員会委員長の神谷龍彦様、同窓会名古屋地区会、尾張地区会、三河地区会の会長様等をお迎えして、お祝いと励ましのお言葉をいただきました。



総会では新たに会長として本学名誉教授の竹原裕様を選出されました。竹原新会長からは、母校である愛知教育大学の益々の発展を期待

し、同窓会として積極的に支援していく意向である、というご挨拶がありました。



引き続き開催された懇親会では、参議院議員の齋藤嘉隆様から、教育系大学を取り巻く厳しい状況についてお話がありました。また、元名古屋市教育委員会委員長の青木一様、元愛知県教育委員会委員長の加藤勤様からもご祝辞をいただきました。仲井豊前会長の発声で乾杯の後、普段は、なかなか接する機会がない方々とも親しく交流することができました。

の賜物と深く感謝申し上げます。

このような会を開催できましたのは、皆様方のご尽力
(愛知教育大学同窓会事務局長 野田敦敬)

国立大学協会定期総会など諸会議開催(6/18、19)

6月18日(月)、国立大学協会の総会が東京の学士会館で開催された。濱田純一会長(東大総長)は体調不良のため欠席で、代わりに松本紘副会長(京大総長)が議長を努めて会議は進行した。定例の総会のため、4月に就任した新学長のあいさつに続いて、副会長として松本京大総学長、香川征徳島大学長、濱口道成名古屋大総長を選任したこと、事業報告や理事会委、各委員会の報告の後、国立大学を取り巻く諸問題について意見交換を行った。



議論の焦点は、給与削減特例法と交付金の削減への考え方、独立行政法人通則法改正の問題点と国大協の対応、5年を超える任期付職員の永久雇用への切り替えの問題、そして6月5日に公表された文部科学省の「大学改革実行プラン」に関する議論が主であった。総会終了後、情報交換会が開催され副大臣、政務官、文部事務次官をはじめ審議官や局長など文部科学省からも多数の出席があった。

19日(火)には10時から12時まで文部科学省による国立大学学長・機構長等会議が開催され、森口泰孝文部事務次官から、給与削減特例法への速やかな対応依頼、大学改革実行プランの国立大学改革に関する説明などに加え、坂東久美子高等教育局長、吉田大輔学術振興局長、清水孝悦施設企画部長から、資料に基づき所管事項の説明があった。また午後には、自由参加を前提にインフォーマルな学長会議が国大協主催で開催され、芦立訓法人支援課長を交えての意見交換が約60の学長が出席し行われた。



同日午後3時から、11教育大学学長・事務局長会議が開催され、池田貴城大学振興課長、鍋島豊教員養成企画室長など文科省側を含む意見交換、とりわけ「国立大学改革強化推進事業」の応募状況を巡っての各大学の意見や「大学改革実行プラン」で明記された教員養成のミッションの再定義(2012年度終了)をめぐる活発な意見交換があった。(学長 松田正久)

2012 第1回環境ミーティング(6/19)



環境配慮型エコキャンパスの創造に向けて、「2012年度第1回環境ミーティング」が6月19日(火)のお昼休みに、第一共通棟自習室Aで開催された。この日は、環境意識が高い教職員・学生合わせて19人が参加した。

「キャンパスの環境創造の要である学生のみなさんとともに考えて行きたい」という三宅明保健環境センター長のことばを受けて、日頃から自主的な環境活動に取り組んでいるラグビー部員からは「毎週朝の清掃活動で、ゴミを回収しているが、毎回かなりの量になり、ゴミが

減らない」、生協学生委員からは「クリーン作戦時に着用するブルゾンが完成し、次回の活動から着用して取り組みをPRしていく」などの報告や課題が示された。保健環境センターからは、昨年度から始まったエコキャンパスづくりプロジェクトの経過報告と壁面緑化等のエコキャンパスプロジェクトへの参加が呼びかけられた。

「禁煙」については「構内全面禁煙になってから、逆に喫煙者のマナーの悪さが目立つ」といった厳しい指摘もあったが、「省エネ」については日本全体の省エネ意識が高まり、「省エネ日本一の実績を持つ愛教大の電気使用量も昨年度は原発停止の影響から大幅に減っている。一層の削減を図るためには学生の省エネに対する理解を深め、行動力につなげたい」と参加者の気持ちがまとまった。
(施設課副課長 鹿嶋伸彦)

教職大学院体験授業(6/20)

教職を目指す大学4年生を対象とした教職大学院の体験授業が、6月20日(水)、本学教育実践棟の模擬授業室にて開催された。志水廣教授が「子どもとのキャッチ&レスポンス能力を磨く」、鈴木健二准教授が「子どもとの出会いを演出する～学級びらきのポイント～」をテーマに、各30分の授業を行った。終始和やかな雰囲気、出席した学生からは「授業も話すことが多く



楽しかった」との感想や「私の通っている大学ではこのような授業がなかったので、こんな実践に役立つ授業をたくさん受けてみたい」「教育実習で残った問題点等を学ぶことができるかなと思った」など、教職大学院ならではの実践を学べる魅力についての感想が寄せられた(アンケート結果など当日のまとめは教職大学院ホームページに別途掲載)。引き続き入試説明会が行われ、出席者は真剣に説明を聞いていた。

7月3日(火)と6日(金)には、誰でも教職大学院の授業を聴講できる公開授業が開催される(学外の方は事前申込が必要です)。毎年好評で、今年も多くの方が参加、教職大学院について知ってもらいたい機会になっている。

(教職大学院ホームページ <http://www.aichi-edu.ac.jp/kyoshoku/>)

(教務課教職大学院係 小笠原有香)

日本銀行名古屋支店見学(6/20)

金融について理解を深め、その経済における役割を知るために、「日本銀行の業務とお金について」というテーマのもとで6月20日(水)午後2時から学生、教職員33人が日本銀行名古屋支店を見学しました。

最初に日本銀行に関する紹介のDVDを視聴し、その上で営業場窓口の見学を行いました。その後、お札の秘密やお金に関するマ

メ知識、銀行券の偽造防止技術の説明、名古屋支店の歴史等についての説明を受けました。

金融政策の果たすべき重要な役割として、デフレ不況といえる厳しい経済状況の中での物価の安定と、さらには金融不安を防ぐための金融システムの安定のために、日本銀行が行っている仕事について理解を深めることが出来ました。また、東日本大震災や伊勢湾台風のような災害時にも、お金の流通を安定させるために日本銀行が果たしている役割を知りました。

お札については普段使っているものですが、偽造防止や使いやすさのためにさまざまな工夫がされており、透



かしなどの優れた技術には驚かされました。

見学に当たり、日本銀行の関係の皆様方に大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。
(地域社会システム講座 准教授 水野英雄)

数学検定グランプリの杉崎さんを学長表彰(6/25)



顕著な活躍のあった学生への学長表彰が 6 月 25 日 (月) 午後 1 時から学長室で行われた。

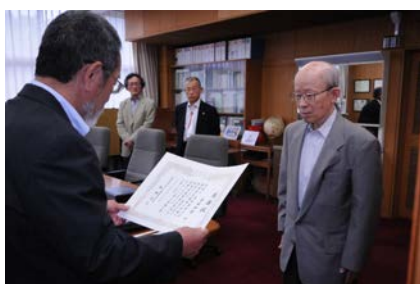
今回の表彰者は、平成 23 (2011) 年の実用数学技能検定「数学検定」でグランプリ金賞 (準一級) を受賞した杉崎貴仁さん (中等・数学専攻 2 年)。杉崎さんは、継続して「数学検定」を受験した学習活動と、優秀な成績が認められた。10 階級のうち、大学生が受賞できる階級は 1 級、準 1 級のみで、同年の大学生受賞者は全国で 3 人のみ。成績が優秀で

あったことが理由で同賞を獲得した。

表彰式では、松田正久学長から杉崎さんへ表彰状が手渡された。都築繁幸理事 (学生担当理事) 小谷健司教授、市延邦夫准教授 (数学教育) 安本太一准教授 (情報教育) からも同席。松田学長は「おめでとう。これからも果敢にチャレンジしてください」と激励し、杉崎さんは「ありがとうございます。高校の先生になりたいので、教職を目指して頑張ります」と決意を語った。



教育研究基金寄附者への感謝状贈呈(6/26)



本学の教育研究基金への高額寄附者に対する感謝状贈呈式が 6 月 26 日 (火) 正午から学長室で行われた。

今回、対象になったのは 2011 年 10 月～2012 年 6 月までに同基金へ 10 万円以上の寄附をした、菱田邦男氏、原口芳明氏、渡邊貢次氏の名誉教授、中川美保子氏、荒井文昭氏の元本学教授、本学監事の村上文男氏の 6 人。式には、このうち、菱田氏、原口氏、村上氏が出席した。

松田正久学長から、一人ひとりに感謝状が贈られ「本学の教育研究に有効に使わせていただきます」とお礼の言葉が述べられた。その後、昼食をとりながら、歓談。食事後には、講堂ロビーへ移動。高額寄附者を紹介する銘板前で、それぞれの名前が刻まれた真新しいプレートの前で記念写真の撮影が行われた。



夏のランチタイムコンサート(6/27)



音楽教育選修・専攻の学生による「夏のランチタイムコンサート」が 6 月 27 日 (水) の昼休み、附属図書館 2 階のアイ スペースで開催された。

季節毎に企画されている同コンサート。同選修・専攻の 2, 3 年生合唱選抜者約 40 人が出演。

演目は「花」「さくら」などの合唱曲の定番から、本学の教員や学生が作曲した合唱曲まで全 6 曲。この日のために練習を積んだ



楽曲を披露し、さわやかな歌声で観客を魅了した。

また、今回はステージで発表する形式だけでなく、客席を取り囲むようにして学生が配置について観客も一緒に歌えるような演出も取り入れ、会場の一体感を盛り上げた。

第1回LAものづくりセミナー(6/29)

6月29日(金)に、大学教育研究センター、リベラル・アーツ教育部門主催で、本学大学院修了の美術作家、山本高之氏の「ものづくりのまえ」と題した講演が第一共通棟で行われた。山本氏は、子どもたちが創作活動をする過程で見せる表情や戸惑いを記録したユニークな映像作品を国内外で発表するなど国際的に活躍するアーティスト。

講演では、山本氏の映像作品の紹介とともに、その制作プロセスを解説し、「作品の持つ多様な意味の組み合わせを読み解く作業の中で、学生には多くのことを学んでほしい」などと述べた。リベラル・アーツのプロジェ



クトメンバーに加え、美術系の教員・学生も参加、興味深い点について直接に意見交換されるなど、活発な雰囲気での講演会になった。創作活動を通じて子どもたちのどのような可能性が引き出されるのか、そこで大人がいかなる役割を担い得るのか、参加者から多くの質問が出された。

加えて今回の講演会は、本学には、教員はもちろんのこと、多岐に渡る領域で活躍できる人材を輩出する教育的土壌を再確認する機会となった。それをどのように生かすことができるのか、それぞれの専門分野の立場を踏まえたアイデアが参加者から幅広く出された。

(教育創造開発機構大学教育研究センターリベラル・アーツ教育部門研究員 長谷川詩織)

連携公開講座「親子で学ぼう！経済のしくみ(6/30)

6月30日(土) 午後に名古屋市生涯学習推進センターで、連携公開講座「親子で学ぼう！経済のしくみ」を開催しました。当日は15組33人の小学生の親子が参加し、本学の水野英雄准教授



(地域社会システム講座) から、厳しい経済状況の中で金融や経済について学ぶことの大切さと、人生におけるさまざまな経済活動について親子で考えることの意義について説明を受けた後、東京証券取引所グループCSR推進部の町田貴子氏が「私たちの暮らしと株式会社～シェア先生と学ぶ経済のしくみと会社の役割～」をテーマに株式会社の仕組みについての講義と、株式投資ゲーム「ブルサ」による体験型学習を行いました。講義は児童がお金の流れを分かり

やすく理解できるように児童に総理大臣や会社の社長、家の主人といった役割を割り当て、経済の仕組みの中で国や企業、家計がどのような役割を果たしているのか工夫された説明がされました。

株式投資ゲーム「ブルサ」による体験型学習では、経済に関するさまざまな出来事(ニュース)が起こる中で、それらの出来事に基づいて投資(株取引)を行いました。ゲームの中で児童たちは提示される経済ニュースからどの会社の株価がどのように変化するのか、保護者や講師のアドバイスを参考にしながら自分なりに考え深め、親子で夢中になって取り組んでいる姿が印象的でした。

「リスク」や「円高」のような小学生には難しい内容まで取り上げられましたが、受講者からは楽しく、かつ、分かりやすかったという意見を聞くことができました。また、



「株は何歳から買うことができるの?」「上場会社の数は?」といった子どもらしい質問も。

本講座は2回構成で、今回は7月7日(土)に全国銀行協会企画部広報室の小倉康介氏による講義「銀行って何だろう?―世の中のお金の流れと銀行の役割―」を行います。

(初等社会選修・法経社履修モデル4年 近藤トキオ)

お知らせ・報告・投稿

AISIN国際交流会(報告)



6月13日(水)に刈谷市のアイシン精機本社で「AISIN 国際交流会」が開催され、本学の宮川秀俊国際交流センター長と国際交流センター職員が引率、10人の留学生が参加した。

この交流会は、アイシン精機課長会のメンバーが主体となって毎年開催されているもので、今年で14回目。同社のコムセンター見学、相撲部の稽古見学及び特製ちゃんこ体験という内容で行われた。

コムセンターでは、展示された製品に自由に手を触れたり、担当者から、インテリジェントパーキングシステム(駐車支援システム)をはじめとした最新技術についての説明を受けた。展示された車両に乗り込み、実際にハンドルを握ったり、ブレーキシステム等の動作体験を行うなど、参加者にとって、とても興味深い見学となった。

相撲部の稽古見学では、四股踏みやぶつかり稽古の見学と併せて、今回は、相撲部監督の配慮により実技体験が組み込まれ、2人の留学生がまわしをつけ、基本動作の指導や相撲部員とのぶつかり稽古を体験した。二回り以上も大きな相撲部員にぶつかり、真っ赤になって必死に押し出そうとしたり、足をかけて倒そうとする姿に、会場は、大いに盛り上がった。体験した留学生は、相撲部員からねぎらいの言葉をかけられると「体が痛かったが、とても楽しかった」と感想を述べた。



見学後は、部員・スタッフと相撲部特製ちゃんこ鍋を囲み、留学生活や相撲についての話に花が咲き、和やかな雰囲気での交流を深めた。

この交流会は、6月6日(水)、20日(水)にも同様の内容で行われ、国際交流センター職員の引率の下、全体で28人の留学生と日本人学生2人(国際交流会館チューター)が参加した。

(教育創造開発機構運営課副課長 国際交流担当 前川由光)



2012年第1回ポイ捨て防止アクション(報告)

6月15日(金)午後4時20分から約30分、2012年第1回ポイ捨て防止活動を実施しました。約10人の職員が参加し、結果は下記の通りです。今回は2カ所を新たに加えました。



昨年と同様の4地域(ブロック)だけの合計は、749本。昨年6月9日に実施した場合の合計846本からは減少しています。

依然としてA地域(第一人文棟、附属図書館、第一共通棟のエリア)、B地域(第一福利施設、情報処理センター、自然科学棟のエリア)でポイ捨てが目立ちました。

昨年の同時期・同地域の実態は、A地域239本、B地域358本でしたので、1年経ってもほとんど変化なし、とも言えます。ただし、昨年6月期D地域の187本は今回明らかに減少してお

り、構成員の自覚的参加と協力がうかがえます。ぜひ、それを継続してください。

7月に実施する「キャンパスクリーンデイ」に合流して、第2回を行います。

○ A地域 335本 (260本+75本 (5缶×15本 (推定)))

○ B地域 298本

○ C地域 57本

○ D地域 59本

・西門付近 37本 (側溝に取りにくい未収集の吸い殻多数あり)

・本部棟近辺 (駐車場含む) 9本

《お願い》敷地外周辺での喫煙の際、必ず携帯用灰皿などを使って、路上へのポイ捨てはしないでください。
(安全衛生委員会委員長 折出健二)

知立市講演会「グローバル化と日本の行方」(報告)

6月15日(金)午後1時半から、知立市中央公民館大会議室で、愛知教育大学地域社会システム講座の水野英雄准教授を招いて、知立市主催の講演会「グローバル化と日本の行方—地域経済の活性化と中小企業の役割—」を開催しました。

知立市では、中小企業振興のために「(仮称)知立市中小企業振興条例」を策定するための懇話会を設置しており、水野准教授には会のオブザーバーとしてアドバイスをいただいております。

今回の講演会では、その取組みの一環として、①少子化による国内市場の縮小と、円高による直接投資の増加によりグローバル化がより一層進んでいる②厳しい国際競争から産業の再編が進み、大企業でも単独での生き残りは困難となっている③大都市への集中が進み、地方経済は厳しい状況となっている—ことが示された。また、今後の日本の行方を「地域経済の活性化」と「中小企業の役割」の観点から分析していただきました。講演のまとめとして、中小企業の生き残り戦略とその支援のために策定している条例の方向性も示していただきました。

当日は、懇話会委員や林郁夫知立市長をはじめ市の職員が聴講。日本や地域の経済の現状や知立市への提言をいただき、中小企業振興から見た知立市のあり方について改めて考える機会となり、懇話会委員はもちろん、市の職員にとってもとても有意義な講演でした。

講演は、愛知教育大学と知立市との連携の一環ですが、水野准教授に感謝申し上げるとともに、今後もさまざまな分野で連携が進むことを願っています。

(投稿：知立市市民部経済課長 平野康夫)

宮本延春さんが著書を出版(お知らせ)

2009年12月、本学の創立60周年記念事業で講演した元高校教諭、宮本延春さん(43)がこのほど、著書「宇宙を感じる七日間」を発売した。

宮本さんは1969年生まれ、愛知県出身。いじめに遭い、中学卒業時まで「九九」が言えず、10代で天涯孤独となったが、その後、物理学に目覚め、理学博士となり、母校の教師に。「オール1の落ちこぼれ、教師になる」を出版、テレビドラマ「金八先生」でも紹介されるなど、話題になった。「未来の君が待つ場所へ」と題した本学の講演では、自身の生き立ちをたどりながら「子どもは輝かしい未来を持っている」と熱弁を振るった。

新刊書について宮本さんは「以前から温めていた宇宙と心の授業を本にしました。人は何のために生きるのか、幸せとは何かなど雑談を交えて宇宙の授業をしながら人と心と宇宙のつながりを感じてもらいたい」としている。プレアデス出版 (<http://www.pleiades-publishing.co.jp/>)刊。A5判、272ページ。定価1890円。

日本学生陸上競技個人選手権大会の結果(報告)

6月22日(金)～24日(日)に神奈川県 Shonan BMW スタジアム平塚で行われた「2012日本学生陸上競技個人選手権大会」での本学の入賞者は、次のとおりです。

・男子 三段跳び 7位 佐脇匠 (体育3年)

- 棒高跳び 7位 安田和弘 (体育3年)
- ・女子 走高跳び 8位 堂ノ下藍 (体育3年)
- 3000SC 5位 花岡紗耶 (体育4年)

(陸上部顧問 筒井清次郎)

岡崎城西高校, 一宮西高校, 桜台高校, 碧南高校が見学(報告)

6月後半は本学への県内から4高校が大学見学に訪れた。



22日(金)は岡崎市の私立岡崎城西高校の生徒68人と教員21人が、観光バス2台で来学。大学概要、カリキュラム就職などについて、職員からの説明を聞き、その後は学内施設の第一共通棟、図書館体育館、ガラス工房などを見学した。体育館でバレーボールやハンドボールの授業を受ける学生たちの様子に歓声を上げていた。

*

27日(水)は愛知県立一宮西高校の保護者127人と教員5人が来学。同校卒業の127人が現在本学に在学中と、毎年多くの生徒が受験する。この日は松田正久学長によるあいさつをはじめ、大学概要、入試などの説明があり、その後に同校卒業で現在4年生の学生が、事前に用意した「愛教大の特徴」などをプロジェクターに投影して、ユーモアたっぷりに説明。1年次と4年次の時間割、教育実習で得られたもの、オーストラリアへの短期留学など自身が体験した大学生活について話して好評だった。



*



28日(木)は名古屋市立桜台高校の保護者69人と校長、教員3人が来学。職員による説明に続いて、同校卒業の在学生8人が駆けつけ、受験した理由、勉強法、本学の魅力などをそれぞれが紹介。保護者もメモをとるなどして、真剣に耳を傾けていた。在学生たちは、施設見学にも同行し、保護者からの質問に気軽に答えて、本学をアピールし、バスに乗って大学を後にする保護者を手を振って見送っていた。

*

さらに、29日(金)には愛知県立碧南高校の保護者26人と教員3人が来学。概要などの説明の後、施設見学。ガラス工房では、学生たちの作品制作の様子などに興味深そうに見入って、質問をする姿も。第一生協では、学食でランチタイムを体験したり購買部や書籍部などを訪れ、学生たちの様子を興味深そうに見て回った。



愛知教育大学国語教育公開講座(お知らせ)

国語教育講座では本年も、一昨年、昨年に続き、下記の通り公開講座を行います。ぜひともご参加いただき、有意義なひと時を共有できますよう、ご協力のほどお願いします。

*

日時 2012年7月28日(土) 13時~17時

会場 知立市中央公民館 大会議室(80名定員) 名鉄「知立」から約1km。知立中学校と知立市役所の間にあります。(Tel 0566-83-1165)

参加費 1000円 ※当日、受付にてお支払いください。

申し込み 7月20日(金)までに①氏名(ふりがな)②所属③連絡先住所・電話番号・Eメールアドレスを明記の上、Eメール・郵送いずれかの方法で、下記丹藤博文研究室

宛にお申し込みください。定員になり次第受付を終了させていただきます。

スケジュール 13:00 受付開始 13:30 第一部「文法を学ぶことの楽しみ」佐々木敦志（阿久比町・草木小） 塩野谷文雄（愛教大附岡崎中） 矢島正浩（愛知教育大）
15:00 第二部「文学教材を読み深める」加藤多恵子（西尾市・寺津小） 佐藤寿生（名古屋市・日比野中） 丹藤博文（愛知教育大）

司会進行 中田敏夫・有働裕（愛知教育大） 16:50 閉会予定

※閉会后、会場付近にて懇親会を予定しています。こちらも、ぜひご参加ください。

【申し込み・問い合わせ先】

448-8543 刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学 国語教育講座 丹藤博文研究室

TEL 0566-26-2223 E-mail h-tandoh@aecc.aichi-edu.ac.jp

催しもの案内

◆教育実践研究科（教職大学院）公開授業

第一共通棟 302 教室

終了後に入試説明会を開催いたします

7月3日（火）

- ① 10:50～10:40 「カリキュラムの開発と評価Ⅰ」
- ② 13:20～14:50 「授業づくりの内容と方法」
- ③ 15:00～16:30 「自律する学校づくり」

7月6日（金）

- ① 10:50～10:40 「心の教育と道徳教育の推進」
- ② 13:20～14:50 「問題行動の理解と生徒指導・相談活動の進め方」
- ③ 15:00～16:30 「学級経営ワークショップ」

問い合わせ・参加申し込み：教務課教職大学院担当係

support_ml@m.aeccc.aichi-edu.ac.jp

詳細は、教職大学院ホームページを参照

<http://www.aichi-edu.ac.jp/kyoshoku/>

◆Unoセクション「人形と版画展」

7月5日（木）～10日（火） 10:00～17:00 水曜休

刈谷駅前商店街「スペースAqua」

卒業生の宮本美代子さん、川合恵子さんによる人形と版画の展示。自然をテーマにしたシルクスクリーンの展示と球体間接人形が表情豊かに不思議な世界を創造する。

問い合わせ TEL 080・1568・2656

ホームページ <http://www.web-aqua.info/>

◆愛知教育大学 第5回サイエンス・カフェ

7月7日（土）18:00～19:00 入場無料、申し込み不要

自然科学棟5階 地学538教室 雨天時も講座は開催

18:00～19:00 講座「天の川に潜むブラックホール」

講師：高橋真聡教授

19:00～19:30 カフェ・タイム

19:30～21:00 「七夕星空観望会」、上映会「3D宇宙の旅」

問い合わせ：理科教育講座天文学研究室 TEL 0566・26・2624

詳細は、天文台ホームページを参照

<http://tenmon.phyas.aichi-edu.ac.jp/>

編集後記

「梅雨」の言葉のとおり，この時期は学内でも梅の実をたくさん見かけました。昨年から，この梅の実で，ジャムを作ったり，学生さんたちとジュースを作ったりと有効(?)利用しています。酸味が効いていますが，無農薬で自然の美味しさをそのまま味わえるので，気に入っています。3日間，毎晩夜なべでジャムを煮詰めた甲斐はありました。改めて，愛教大の自然の恵みに感謝。(K)



投稿のお願い

学内外の出来事(教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など)に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール:kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp 編集責任者:総務担当理事 折出 健二